

生徒1台タブレット活用事例

写真を撮影した場所を特定してみよう！！（悪用厳禁）

事例① 数学Ⅱ（軌跡）

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・軌跡の求め方について復習	復習内容を聞く。	・具体的な問題を解くのではなく、考え方の流れを確認する。
展開	・教材プリント（裏面）の配付 ・グループ分け	・教材プリントを読み、グループに分かれる。	・話し合いが活発に行われるよう、4人1組のグループを作る。 ・タブレットと一緒に移動する。
	・問1 2つのタワーが同じ高さに見えるところはあるか。また、その場所を特定せよ。 ・問2 写真から判断できる他の情報から写真を撮影した場所を特定せよ。	・問1、問2について、グループ内で話し合いながら解く。 ・タブレットを適宜使用して必要な情報を調べる。	・模範解答が載っているようなサイトを見るのは避けさせる。 ・議論が進んでいない班があれば助言する。 ・早めに終わった班には他の特定方法がないか検証させる。 ・問2ではあくまでも数学的な手段を用いることを強調する。 （数学的でない方法を見つけた班があれば別解として紹介する。）
	・解答の共有	・各班で出た解答を発表・確認する。	・同じ内容でも自分たちなりの表現で発表させる。
まとめ	・本時の内容のまとめ	・まとめを聞く	・日常の事象を数学的にとらえることは実はさほど難しいことではないことを伝える。

右の写真は東京タワーとスカイツリーをある場所から撮影した写真である。この写真を見て、次の問に答えなさい。



問1

2つのタワーが同じ高さに見えるところはあるか。また、その場所を特定せよ。



問2

写真から判断できる他の情報から写真を撮影した場所を特定せよ。

事例② 数学 I（図形と計量&データの分析）

- (1) 学校の中でどこかの建物の高さを三角比や掃除などの方法を用いて測量
- (2) 測量データを方法別に Teams に上げた共有ブック(Excel)に入力
- (3) データがそろったところで測量方法としてよりよい方法は何か、正しい建物の高さはどれくらいかを考察

事例③ 探究(Excel の使い方)

Zoom を用いて各クラスへ講義を配信。生徒は自身のタブレットで講義を聴きながら作業する。

(インフルエンザやコロナによる欠席者が多い時期であったため、欠席者にも参加できるよう周知)